

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MAEC TECHNICAL NEWS

No.M7700-143-0204

7911グループフラッシュメモリ使用時の注意事項

分類	ドキュメント正誤表 注意事項 ノウハウ その他	対象	7911グループ (M37911FGCHP、M37911FGMHP、 M37911FCCHP)
----	----------------------------------	----	---

1 CPU 書き換えモード解除時に対する注意

CPU 書き換えモードを解除する前に、“FF₁₆” データが4バイト連続して配置されている内蔵フラッシュメモリの任意の領域に対してダミー読み出しを実施ください。

ダミー読み出しは、次ページのCPU 書き換えモード設定解除手順に示すようにリードアレイコマンド又はフラッシュメモリリセットの後に実施ください。

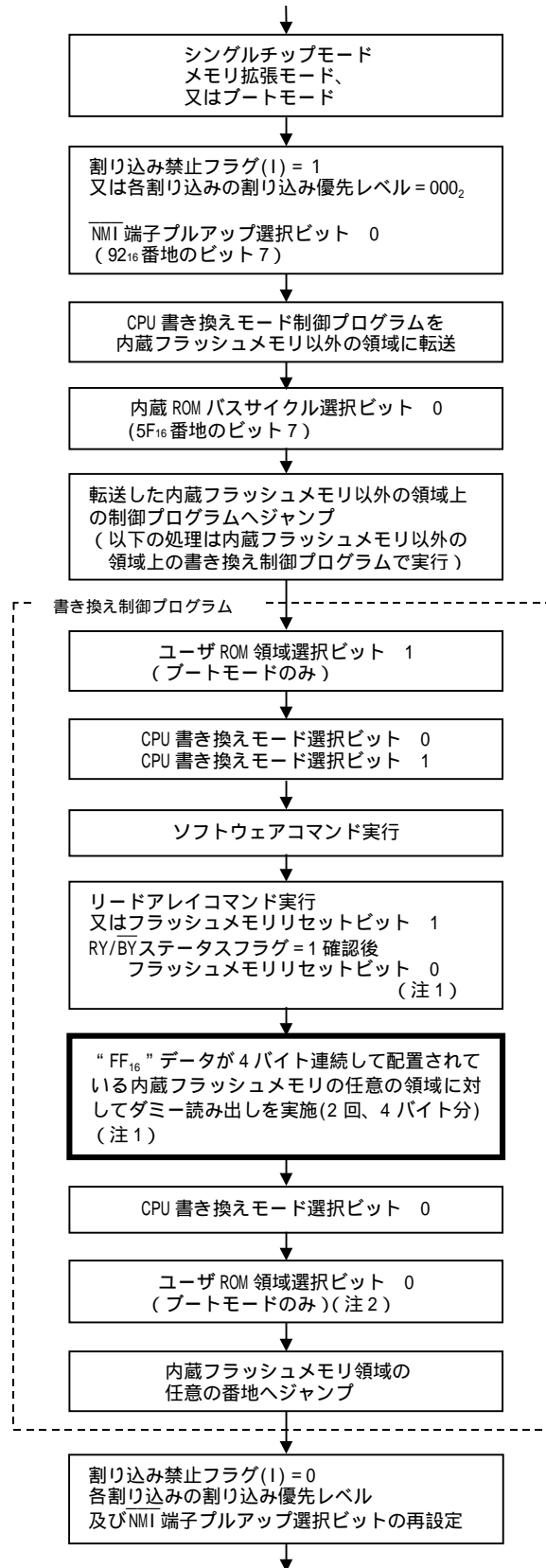
2 CPU 書き換えモードのプログラムコマンド実行に対する注意

CPU 書き換えモードにおけるプログラムコマンド実行時には、3ページの「プログラムフローチャート」に示すように、第1バスサイクルのコマンドコードは、第2バスサイクルでデータを書き込むアドレスに書き込んでください。

プログラムコマンドの次に、プログラムコマンド以外のソフトウェアコマンドを実行する時には、3ページの「プログラムフローチャート」に示すように、該当コマンドの第1バスサイクルのコマンドコードは、直前に実施したプログラムコマンドの第2バスサイクルのアドレスに書き込んでください。

以上

CPU 書き換えモードの設定/解除手順



注1. CPU 書き換えモードの解除は、これらの処理を実行してから行ってください。

2. ユーザ ROM 領域選択ビット = 1 のまま CPU 書き換えモードを解除すると、ユーザ ROM 領域アクセスになります。

プログラムフローチャート

下記は $1000_{16} \sim 10FF_{16}$ にプログラムする場合の一例

